

星の停車券 (22) はちぶんぎ座・つる座

土山 紀子

厳しい暑さも一段落。夜の涼さと日差しの柔らかさを実感する十月です。日に日に空が高くなって星々も輝きを増すようですが、そんな澄んだ大気を通してさえも、十月の星空はかすかです。目立つのはベガスの円形と、みなみのうお座のフォーマルハウトだけでしょうか。昨午はベガスに寄り添うこま座と南天のインディアン座についてお話ししましたが、今月は最も南にある星座はちぶんぎ座と、地平線すれすれに羽を上げるつる座をご紹介します。

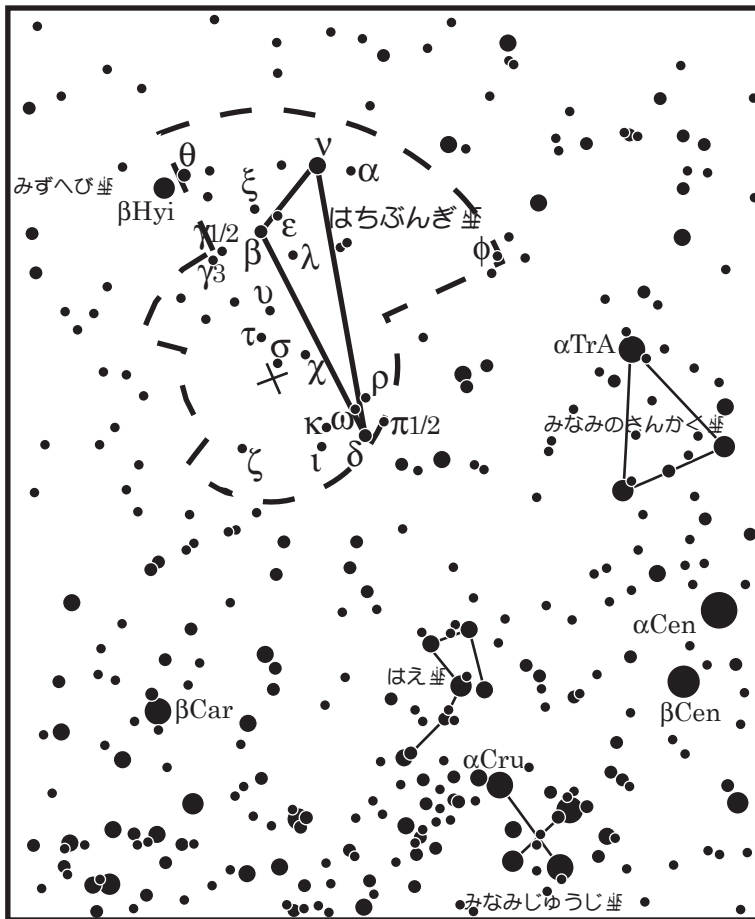
まずは、天の南極に位置するはちぶんぎ座。

はちぶんぎ座は、もちろん日本では全く見ることはできませんし、赤道直下のシンガポールへ行っても、星座全体を一瞥に見ることはできないという生粋の南天星座です。けれども一番明るい ν 星でも3.8等ですから、例え南半球へ出かけても、はちぶんぎ座を結ぶのは可能ですからしれませんね。生育子を持つ星もありません。

はちぶんぎ座は、フランス人の天文学者ニコラス・ルイ・ラ・カイユ神々が、1730年にイギリス人の数学者ジョン・ハドレーによって発明された八分儀を記念して1752年に設定したもので、1763年発表のラ・カイユの遺著で“ハドレーの八分儀座”として知られました。まさに18世紀の悲劇を伝える星座と言ってもいいでしょう。

八分儀とは海上で天体の高角を測定して船の位置を決めるための道具で、これを改良して現在の六分儀が作られています。

〇〇分儀の子を持つ星座は、他にろくぶんぎ座と今は無きしぶんぎ座がありますが、これ



らは全て、円角を数等分した扇形の円角に刃の目盛りをつけた角測定器です。4等分(45度)したものが四分儀、6等分(60度)が六分儀、8等分(45度)が八分儀で、天体の地平高角や水平線高角、天体同士の視角などを測るために用います。

はちぶんぎ座で唯一にして最も注目される存在は、一先何の変哲もない5.5等の σ 星。そう、天の南極から1度ほど離れたところで“南極星”の役割を果たす星ですが、2.0等の北極星と比べてあまりに地味な存在なので、星空案内に下向きとされて評判が良くありません。

みなみじゅうじ座 α (α Cru, 1.4等)とみずへび座 β (β Hyi, 2.8等)を結んだ線を3等分すると、みずへび座 β より1/3の所に輝いていますので、機会がありましたら探してみましょ。

次に、熊本県の空にあっては南極の惑星を満喫できるつる座。

10月5日 22時の熊本市の空を再現してみました。つる座境界線の最南端でさえ地上に出ています。東京23度まで北上するとつるが地平線上1.4度、札幌市ではβつるも地平線下になるのですから、全景を楽しむことができるのはとても恵まれたことなのです。

つる座はフォーマルハウト(αPsa, 1.2等)の南に位置し、胴本に輝くα(1.7等)・β(2.1等)と、頭のγ(3.0等)を括弧して足下までつるを繋ぐと、脚裏のツルの姿が浮かびます。まるで上(北)のみなみのうお座をついばんでいる様ですね。15世紀のスペインの航海家は、やはり脚の長い鳥“フラミンゴ”の名で呼びましたが、バイエルによってツルになったと言われます。

つる座は、ドイツのヨハン・バイエルが、オランダの航海士ピエトル・デイルクス・ケイザー(ラテン語名ペトルス・テオドリ)の手記を参考に星表『ウラノメトリア』(1603年)で判定した星座の一つ。日本でお馴染みのツルは、西洋でも天頂高く飛ぶ姿から縁起の良い鳥とされ、エジプトでは天文学者の象徴、またローマの鳥占いではワシやハゲワシと並んで尊ばれていたそうです。

つる座に関連したギリシア神話は特に知られませんが、キリスト教関連では『旧約聖書』エレミヤ書(*)に出てくるコウノトリとされていました。同書の同じ節でツルの名も出ていますが、何故コウノトリなのでしょうね。(※財団法人日本聖書協会『聖書』新共同訳よりエレミヤ書8章7節; 空を飛ぶこのとりもその季節を知っている。鳥もつばめも鶴も、渡るときを守る。)

このほか古代アラビアではつる座のαとβを“二羽の鳩”と呼び、太平洋のマーシャル諸島の人々はつる座を魚釣りの釣り竿に見ていました。

旧約書を持つつるはαとγで、αはアラビア語で“輝くもの”という意味のアルナイル。もともと“魚の輝星”という意味で、古代アラビアでみなみのうお座に属していた名残です。αつるのほか、βδθιλなどがみなみのうお座に命まれたのではないかと考えられています。

γつるアルダナブはアラビア語の“鳥”が語源で、デネブ(はくちょう座α)、デネボラ(しし座β)、デネブ・カイトス(くじら座β)などと同じ語源です。つる座ではβの位置にあるので、やはり古代アラビアの星座が語源でしょうか? 詳細は下巻です。

